

現代のインプラントトラブルの光と影— 治療トラブルと患者対応について—

日時：令和4年10月16日(日)
場所：フクラシア八重洲、Web
講師：宗像 源博先生



百瀬 康仁(東京都)



2022年10月16日にフクラシア八重洲にて第2回定例研修会がハイブリッド形式にて行われました。

はじめに田中会長の挨拶に始まり、会員発表は高井 貞浩先生が「重度歯周炎患者にインプラントを含めた包括的治療を行なった1例」というテーマで発表されました。

セレクトドドクターによるシンポジウムは「インプラントのトラブルシューティング」というテーマで3人の先生にご登壇頂きました。熱田 互先生は「インシデントレポートを用いたインプラント治療におけるトラブル予防の再考」当会から昨年出版された書籍「インプラントの“ヒヤリハット”あるある」に関して症例を含めてご発表いただきました。水澤 伸仁先生は「歯科心身症への配慮」インプラント治療に関連した歯科心身症の症例を含めて注意点や対応に関してご発表いただきました。齊藤 伸和先生は『インプラント周囲炎』にどのように立ち向かうか」インプラント周囲炎の治療に関して主に外科的治療に関し

て詳細にご発表いただきました。ディスカッションも活発に行われました。

午後は宗像 源博准教授の「現代のインプラントトラブルの光と影—治療トラブルと患者対応について—」という演題にてご講演頂きました。前半はインプラントトラブルに関して近年の傾向も含めたトラブルの時代の変遷、治療別・原因別のトラブルやリスクに関しての講演を拝聴しました。後半はインプラントトラブルとリカバリーに関しての講演を拝聴しました。トラブルを引き起こさないように日頃からの準備やトラブルにならないような意識が重要であることを再認識致しました。明日からの診療に役立てたいと思います。

最後に水口 稔之先生の閉会の挨拶で盛会にて終了いたしました。

今回も大変勉強になりました。来年の全員発表研修会は熱海で出来るように準備されているということで、来年のCISJも楽しみにしております。